

## ◎第2回研究部長研修会について

1月15日(水)に第2回研究部長研修会がオンラインで開催されました。研修では、「日本の教育を良くする要点～特に小学校に焦点を当て」と題して、昭和女子大学ダイバーシティ推進機構客員教授(前 広島県教育長)平川 理恵様をお迎えして、ご講話いただきました。授業改善(特にイェナプランや自由進度学習)や不登校対策の具体についてご示唆をいただき、これからの日本の教育について、広い視野をもって考えるきっかけを与えていただきました。またご講話の後、全国公立学校教頭会理事会、全国公立学校教頭会第2回研究部長会の報告等があり、各都市研究部長との共通理解を図りました。

## ◎全国公立学校中央研修大会について

2月7日(金)に令和6年度中央研修大会がオンライン開催でされました。まず、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官 白井 俊 氏を講師としてお招きし、「日本の教育とウェルビーイング」という演題で講演が行われました。「ウェルビーイング」とは何か、また、ウェルビーイングを実現するために大切なエージェンシーについて解説をしていただきました。最後にフィンランドとシンガポールの事例から、今後の日本の姿について考え、実践していくことのある責任があることを示されました。その後、「ウェルビーイングの構築に向けた学校の役割について」というテーマで、コーディネーターに岐阜聖徳学園大学教授 山田 貞二氏、シンポジストに神奈川県鎌倉市教育長 高橋 洋平氏と全公教研究部員 那覇市立城岳小学校教頭 池原 鉄氏を迎えてシンポジウムが行われました。研修会を通してウェルビーイングとは何かという方向付けや実際の業務にかかわる「教頭としての働きかけ」について、話の方向性をもっていただいたことで、分かりやすく勉強になった研修会でした。本研修会については、3月31日まで全公教ホームページからオンデマンドで視聴することができるので、本県の多くの先生方にもぜひ知っていただきたいと思います。

## ◎第3回役員会・理事研修会について

2月26日(水)に第3回役員会・理事研修会が開催されました。役員会では県教頭会として、県域と政令市との関わりについて確認を行い、来年度の県研究大会・令和9年度九州ブロック公立学校教頭会研究大会福岡大会に向けての実施計画について説明を行いました。理事研修会では、前文部科学省初等中等教育局視学官で、帝京大学教育学部教育文化学科教授 安部 恭子先生に「多様な他者と協働してよりよく生きる力を育む教育活動」と題してご講話いただきました。特別活動を中核としたカリキュラムマネジメントによる子ども達の生きる力の育成の重要性や学校運営における教頭の役割についてのお話を頂きました。その後の協議では、本年度の教頭会の活動についての総括を各担当より行うとともに次年度の事業計画について説明しました。また、議事として退職教頭対策費の見直しについて提案があり、令和7年度より変更を行うことが可決されました。

## ◎第3回全国理事会について

3月7日(金)に第3回全国理事会がハイブリッド開催(参集参加またはオンライン参加)で行われ、藤井会長が参集参加いたしました。まず報告事項として、①全公教活動経過報告 ②各ブロック経過報告 ③専門部活動報告 ④その他(中央研修大会及び令和6年度 全国公立学校教頭会)について報告がありました。次に報告・協議事項として、①第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会について ②第67回全国公立学校教頭会研究大会茨城大会について ③令和7年度 文教施策及び予算措置・文教関係立法等の要請文についての報告と提案があり、承認されました。また、来年度についての協議事項として、①令和7年度 全公教活動計画(○令和7年度 活動方針 ○令和7年度活動予定 ○令和7年度実施「全公教会計の適正化」の確認 ○令和7年度 一般会計予算) ②全国公立学校教頭会 会則の一部改訂についての提案があり、承認されました。最後に、その他の事項として、①令和6年度 文部科学省予算説明会報告 ②令和6年度 全国公立学校教頭会の調査報告について説明が行われました。